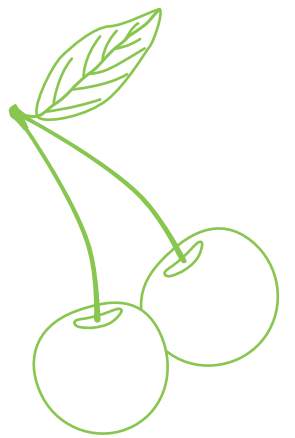


移住のススメ

てんどうに住むべ

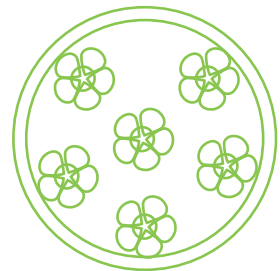


上杉神社
卍

山寺卍

蔵王

山形県



山形県 天童市
Yamagata Tendo City

天童市は 便利で住みやすい

「ほどよい田舎まち」です

住みやすいまち

学校や病院、買い物など、生活に必要な施設が充実しています

子育てしやすいまち

手厚い子育て支援のほか、住まいの面でも移住者を支援します

アクセス便利なまち

山形新幹線で東京から3時間、山形空港まで車で10分の好アクセス。
仙台はもちろん、首都圏からの日帰り往復も可能です

フルーツのまち

生産量日本一のラ・フランスをはじめ、サクランボ、
桃、ブドウ、リンゴなどフルーツが盛りだくさん

いで湯のまち

名湯・天童温泉に、仕事帰りにも立ち寄り可能な
天童最上川温泉「ゆぴあ」など、身近に温泉を
楽しむことができます

特産品

将棋駒

生産量日本一を誇る天童市は、将棋駒のふる里で知られています。



指し駒

飾り駒（王将）



飾り駒（左馬）

地酒

良質な米と清らかな水に恵まれ、丹精込めて醸された天童の地酒は、全国的にも有名です。

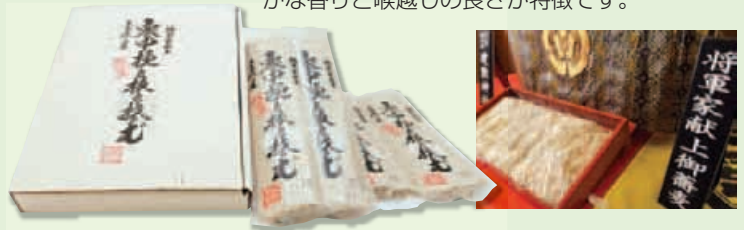
ワイン

地元で栽培した高品質なブドウを使用したワインは身も心も酔わせませす。



そば

風味にこだわり粗挽きにして太く打ち上げられた田舎そば。「板そば」は、豊かな香りと喉越しの良さが特徴です。



果物王国 天童



サクランボ



ブドウ



桃



リンゴ



ラ・フランス

初夏のサクランボに始まり、8月にはブドウや桃、和梨、9月からはリンゴなど、果物の名産地です。

特に、西洋梨の一種で上品な味と香りが自慢のラ・フランスは、生産量日本一です。

人口

61,967人
(令和元年12月末 住民基本台帳登録人口)

世帯数

22,411世帯 (令和元年12月末)

面積

113.01 km²

交通

路線バス：7路線
駅：4駅
デマンドタクシーあり
山形空港
(隣接の東根市・車で10分)

主要施設等

小学校：12校
中学校：4校
高等学校：2校
短期大学：1校
認定子ども園：4園

気候

内陸性気候の特徴があり、夏・冬や昼夜の気温差が大きく、降雪量は山形県内で比較的少ない地域です。

- 年平均気温 12.3℃ (平成30年)
- 年間降水量 1021.5mm (平成30年)

認可保育所：13カ所
児童館：3カ所
届出保育施設等：11カ所
私立幼稚園：5園
小規模保育事業所：4カ所
放課後児童クラブ：26カ所
市立公民館：13館

公園：都市公園など136カ所
工業団地：7カ所
病院：4カ所
一般診療所：40カ所
歯科診療所：29カ所
スーパー：12カ所
ホームセンター：3カ所
(令和元年12月現在)

移住者の声



高校2年生のとき、山形市にある美術大学の最上階の大きなガラス窓から風景を見渡した瞬間、「私は、1年後、絶対この場所にいる…！」と直感したことをよく覚えています。

埼玉県・東北の小さな町で生まれ育った私は、物心ついた頃から絵を描いたり、モノを作ったりするのが大好きでした。埼玉県といっても、大都市から離れていたため、自宅の周りには田んぼや畑、草むらがたくさんあり、身の回りの風景を絵に描くのが楽しみでした。幼い頃から田園風景が大好きだったせいか、都会に対する憧れよりも、もっと自然の豊かな場所で好きなことをしたいという憧れの方が強かったのです。

2007年春、山形に来てから1年が経過し、大学や山形の生活にも大分慣れてきた頃、大学で「芸術とデザインによる廃校活用と地域教育」と題された大きなプロジェクトが動き始めました。それは、中山間地域の過疎化の象徴ともいうべき廃校を拠点に、地域の方々と交流を重ね、展示会やイベントなど多様な活動を住民と共に展開していくというものでした。対象となった県内5地域・8つの廃校のうち、私が最初に足を踏み入れた場所が天童市田麦野地区でした。「みつけた」+「たむぎの」で『みつけたむぎの』と名付けられた私たちのグループは、スケッチ、住民の方から話を伺って地域の文化を調べる取材活動、取材に基づいた作品制作や展示会、キャンドルナイト、食事会など、10年の間にさまざまな活動を行いました。はじめは「芸術なんてよくわかんねえ」と言われ、返す言葉も思いつきませんでした。しかし、時間の経過とともに住民の意識が変化し、「田麦野の見方が大きく変わった」「こんなにいい場所だったのか」という言葉を多くの住民から聞いたときのうれしさは今でも忘れられません。



吉田祐子さん

埼玉県出身

田麦野をはじめとする、中山間地域の人々の温かさ、自然や食文化の豊かさに触れ、山形が大好きになった私は、この地で暮らすことに迷いはありませんでした。大学卒業後は、鶴岡市でまちづくりや子ども関係の仕事と並行して、創作活動や「やまがたこどもアトリエ（子ども向けの造形体験や職業体験の企画運営）」という活動を行ってきました。

山形に来てからちょうど10年目の2016年秋に体調を崩して、3ヵ月間実家に戻りました。その出来事が、結果的に山形での暮らしやこれからの生き方をじっくり考える機会となり、2016年2月に思い切って天童に引っ越しをしました。その後、地域の方々のご厚意とご協力のおかげで、9月から田麦野の空き家を借りることができました。現在は、市内の学童保育所で放課後児童支援員の仕事をしながら、創作制作や子どもを対象にした造形体験活動の企画運営を行っています。田麦野公民館の職員さんや地域づくり委員会の方々はもちろん、田麦野地区には、若い人が何かをしたいと思ったとき、知恵や力を貸してくれる人が大勢います。否定することは決してなく、こちらの話をじっくり聞いてくれます。こんな地域は、めったにありません。今後も住民の方々との関係を大切にしながら、田麦野での暮らしを存分に楽しみたいです。



私が生まれたのは東京都豊島区です。子供の頃（50年ほど前）は畑も多く、高い建物もなく、晴れた日には富士山や筑波山が遠望できました。自動車も少なく渋滞など無縁で、朝にはよく大通りで遊んだりしていました。また早朝には馬車が通るのをよく見かけたものです。今では想像できませんが、とてもどかな所でした。後に「田舎暮らしがしたい」と思うようになったのは、子供の頃の心象風景なのかもしれません。

千葉県病院に勤めていましたが、定年退職して、自然豊かな所に住もうかと考えるようになりました。妻が定年を迎えるのを待って、どこが良いか適当な所を探しました。信州や日光方面も検討しましたが、娘が妻の実家（東根市）のある山形を勧めたので山形に決めました。ちょうどその頃、早稲田大学を会場として全国の観光、物産等の催しがあり、その中で山形県への移住を紹介する「やまがた里の暮らし大学校」で空き家バンクを知りました。このような縁で、天童市のホームページの空き家バンクから、田麦野の住まいを見つけられました。

田麦野は妻の実家に帰省の際に、小さい子供たちを連れて天童高原にスキーをしに来たことや、お昼はジンギスカンがお気に入り、よく食べたことなどを思い出しました。天童高原ロッジに宿泊したこともあり（当時は宿泊施設がありました）。その時には、「田麦野はのどかな良いところだな」

私は千葉市の中でも比較的自然的に残る地域で育ちました。住宅地の開発などで今はもう田んぼや畑もほとんどなくなってしまいましたが、小さいながら田んぼが広がる景色や夏のカエルの鳴き声は懐かしい景色のひとつです。

最初に山形を訪れるきっかけになったのは、山形出身の夫と結婚したことです。それまでは一度も山形に来たことがなく、どんなところなのか全く知らなかったのですが、広がる自然は壮大で美しく、食べ物はおいしく、さまざまな特産品や地域産業を大切にしている、帰省のたびに知る山形の魅力の多さにはとても驚きました。

以前は神奈川県川崎市に住み、夫婦共に都内に通勤していましたが、主人から「山形に帰りたい」との相談があり、山形へ移住することにしました。

私にとっては慣れない生活環境への移住のため、一体どうなってしまうのかという気持ちも正直ありましたが、役所の移住窓口の方に相談をしながら引越し先を検討しました。悩んだ結果、温泉街の風情ある街並みや、雪が比較的少なく、自然もありながら、役所や図書館、スーパーなど生活環境がまとまっているところが住みやすそうと感じた天童市に移住を決めました。

また、移住生活をしようとしてさまざまなことにチャレンジしました。

山形の魅力を発信するSNS、運転免許の取得、滑れなかったスキーも始めました。



妻の利子さん

と思いましたが、まさか後に自分が住むようになるとは、考えもしませんでした。すぐに家を見に行ったところ、売り主さんの人柄も良く、市職員の対応も丁寧だったので、すぐに購入を決めました。

田麦野地区は静かでのどかなところが、大変気に入っています。雪は想像通りの多さですが、季節の大きな変化は驚きと感動が絶えません。そしてなによりも、地域の皆さんがとても親切で、高齢な方が多い地域ですが、朝早くから元気に畑仕事をしている方が多く、生活の知恵を日々学んでいるところで、充実した日々を過ごしています。ここに決めて本当に良かったと思っています。ハイキングやスキーに行き、そして温泉に入る楽しみが、これからはもっともっと増えてくると思っています。

働き方を考えて自由度の高い在宅ワークを始めたり、人生初のボランティアをしたり、私と同じように山形に移住された女性の集まる会に参加したことで友達を作ることもできました。

日々の中で実感したのは、自然を通して感動することが増えたことです。季節の移り変わりが感じられるようになり、天童市には果樹園も多く季節の果物を美味しくいただいたり、温泉に気軽に行けるのは本当に贅沢だなあとしみじみ感じています。

山形での生活ももうすぐ一年。私は山形への移住をきっかけに新しい自分に出会えたと感じています。今では不安もすっかりなくなり、週末は「今度はどこに行こうか?」と主人と考えるのが楽しみになっています。



夫の拓さんと

移住者への支援制度など

住まい

住宅リフォーム総合支援事業

住宅の所有者が行うリフォーム等の経費の一部を助成します。移住世帯へは助成の上乗せがあります。

定住促進・子育て世帯支援事業

天童市外からの移住者が、市内に住宅を新築又は購入して居住する場合に経費の一部を助成します。

子育て世帯（中学生以下の方がいる世帯）… 25万円
上記以外の世帯 …………… 15万円

空き家バンク

登録された市内の空き家の物件情報を提供します。



移住推進等空き家利活用支援事業

天童市外から市内の空き家に移住して、リフォーム、耐震補強、建て替え等をする場合の費用や、引っ越し費用の一部を助成します。



仕事

移住支援金

東京圏から天童市に移住をして、就業又は起業された方に、移住支援金を支給します。

就農者支援

新たに農業を始めたい方などの相談、就農支援準備などをサポートします。

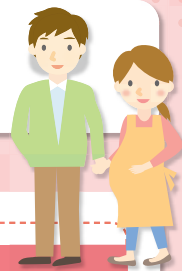
起業支援

中心市街地の活性化のため、市内の空き店舗に出店する事業者を支援します。



※掲載している制度以外にも支援制度があります。
※制度を利用するには、各種条件がありますので、お問い合わせください。

子育てするなら天童市 ～主な子育て支援制度～



妊娠・出産

母子保健コーディネーター 「ママ&チャイルドコンシェルジュ」事業

市健康センターに、母子保健コーディネーターを配置し、婚姻届時から育児期まで切れ目のない支援を行います。

特定不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精および顕微授精）に要した費用が山形県の助成限度額を超えたご夫婦に、1回の治療につき20万円を限度に助成します。

妊婦健康診査の助成

母子健康手帳交付の際に、妊婦健康診査受診票（14回分）、子宮頸がん検診、性器クラミジア検査、HTLV-1の抗体検査、超音波検査特定受診票（4回分）を交付します。

赤ちゃんへの訪問

赤ちゃんが誕生した全家庭を、保健師等が訪問します。子育てや発育状況の確認、予防接種の進め方、お母さんの健康管理等の相談を行います。

子育て・教育

子どもの医療費無料化事業

0歳児～高校3年生（18歳）までの医療費（保険診療分）の自己負担額が無料です。



第3子以降学校給食費無料化事業

満18歳未満の子を3人以上養育している世帯について、第3子以降の小・中学校の給食費が無料です。

市内全小学校区に放課後児童クラブを設置

市内全小学校区に放課後児童クラブを設置し、就業などで保護者が昼間家庭にいない小学生に遊びや生活の場を提供しています。

第3子以降保育料無料化事業

満18歳未満の子を3人以上養育している世帯について、第3子以降の保育園、認定こども園、届出保育施設等（認可外保育施設）、幼稚園など全ての保育施設等の保育料等が無料です。

子育て支援施設

市わらべ館



主に乳幼児と保護者に遊びと触れ合いの場を提供し、子育てについての情報の提供や相談を受け付けています。

市子育て未来館げんキッズ



親子に遊びと触れ合いの場・親同士の交流の場の提供、一時預り、ファミリー・サポート・センター事業、子育て相談の実施など、多機能な子育て支援センターです。各講座やイベントなども充実しており、連日多くの家族連れでにぎわっています。

天童市ガイドマップ



移住相談窓口 天童市総務部市長公室

〒994-8510 山形県天童市老野森 1-1-1
tel.023-654-1111 fax. 023-653-0704
e-mail:tendoshi@city.tendo.yamagata.jp
https://www.city.tendo.yamagata.jp



※本パンフレットの掲載内容は
令和元年12月現在の情報に基づいております。

アクセス

車	東京	東北自動車道	村田IC	山形自動車道	山形北IC	国道13号	天童
		4時間		30分		10分	
JR	東京	山形新幹線		天童			
		最速2時間40分					
航空	東京(羽田)	1日2便	1時間	山形空港	タクシー 10分	天童	
	大阪(伊丹)	1日3便	1時間15分				
	名古屋(小牧)	1日2便	1時間10分				
	札幌(新千歳)	1日1便	1時間5分				
バス	東京(浜町バスターミナル)	6時間50分		天童			
	仙台(仙台駅前)	1時間20分 国道48号(※令和2年3月まで)					